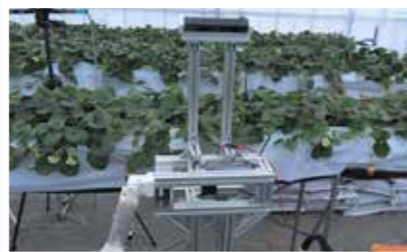


ロボティクス学科に関する研究所

高信頼理工学研究センター

インテリジェント材料など、機能材料のさらなる高度化を目指し、ロボット用嗅覚をはじめとするセンサシステムや、それらを応用したロボットを開発する。



FMT研究所

“ふせぐ、まもる、たすける”ための未来機械の技術開発を行う。危機対応システム機器開発や、福祉・医療支援のための機器やロボットを開発する。



生体機構制御技術研究所

生体が持つ機構制御技術を応用して、工学、生物学、医学等の観点からロボット開発にブレークスルーをもたらす技術を創造する。



ロボティクス学科出身者の主な就職先

学科卒業生の就職実績

4年生の就職先（過去5年間）

朝日インテック、アドバネクス、アマノ、石川製作所、遠藤製作所、ケーヒン、菊池製作所、共英製鋼、三光合成、三協立山、サンデン、シスメックス、澁谷工業、総合警備保障、スズキ、高松機械工業、大建工業、ダイフク、タムロン、天馬、トヨタ自動車、長野計器、ナブテスコ、日本精機、ハーモニックドライブ・システムズ、浜松ホニクス、平田機工、不二越、不二電機工業、豊和工業、マキタ、三菱電機、ヤマハ発動機、DMG森精機、IDEC、JR東海、JR西日本、JR東日本、SMC、SUBARU、THK、TOA（すべて上場企業）など

他にも大手優良企業に多数就職しています

大学院進学者の就職実績

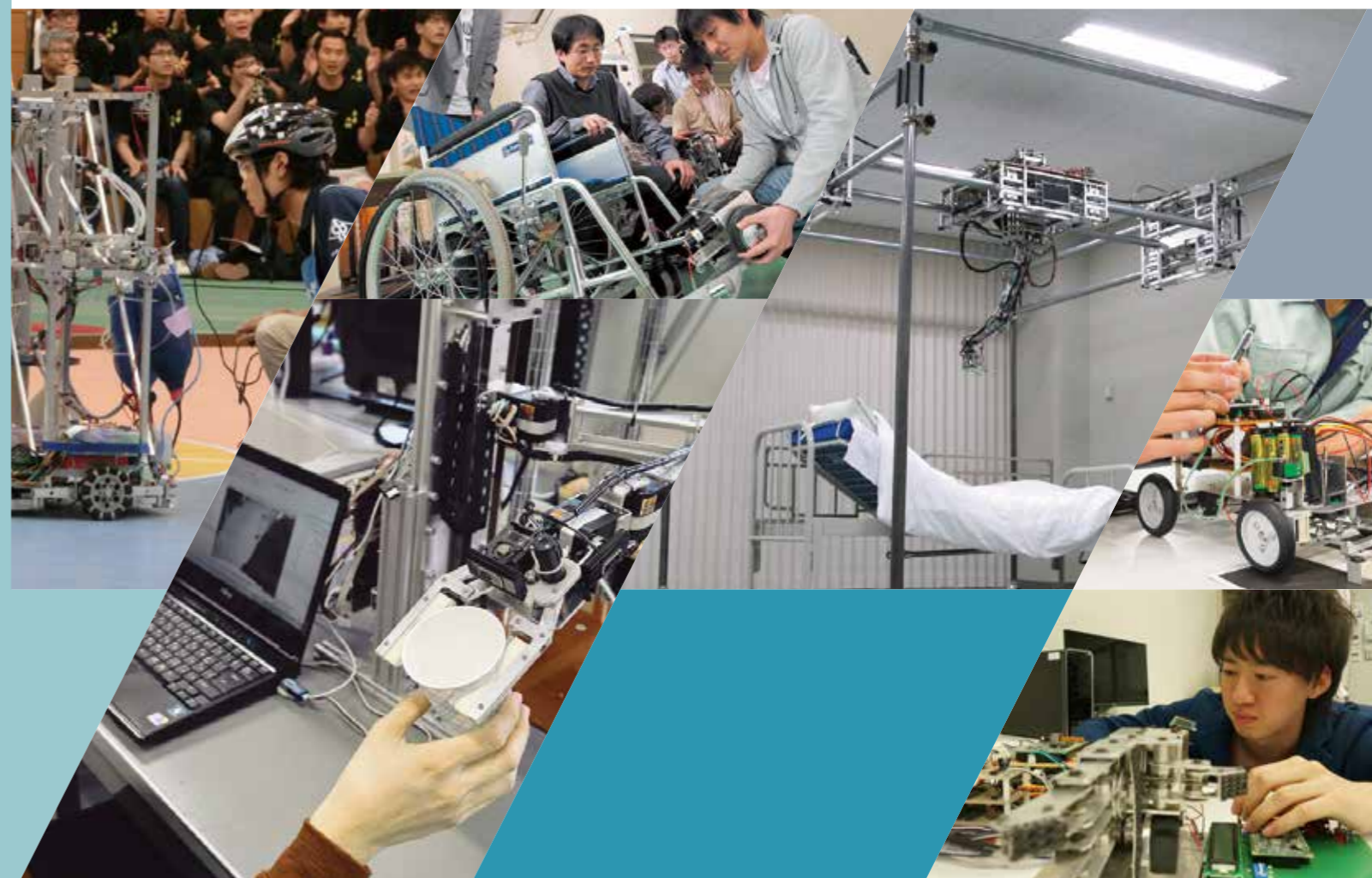
修士2年生の就職先（過去5年間）

アズビル、岡村製作所、オムロン、北川工業、コマニー、スタンレー電気、スズキ、シスメックス、澁谷工業、シャープ、総合警備保障、田辺工業、津田駒工業、トビー工業、豊田合成、日本電産、不二越、マックス、三菱電機、JR東海、KYB（以上上場企業）、アイエイアイ、オムロンオートモーティブエレクトロニクス、デンソーウェーブ、トヨタテクニカルディベロップメント、三菱重工環境・化学エンジニアリング、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、三菱電機メカトロニクスソフトウェア、ヤンマーホールディングス、レノボ・ジャパン、ABB、YKK AP など

大学院進学者のほとんどは上場企業に就職し活躍しています



金沢工業大学
Department Close up



Department of Robotics

工学部

ロボティクス学科

金沢工業大学

工学部 …… 機械工学科/航空システム工学科/ロボティクス学科/電気電子工学科/情報工学科/環境土木工学科
情報フロンティア学部 …… メディア情報学科/経営情報学科/心理科学科
建築学部 …… 建築学科
バイオ・化学部 …… 応用化学科/応用バイオ学科

【お問い合わせ】 金沢工業大学入試センター

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 / TEL.076-248-0365 / FAX.076-294-1327 / E-mail nyusi@kanazawa-it.ac.jp / URL www.kanazawa-it.ac.jp

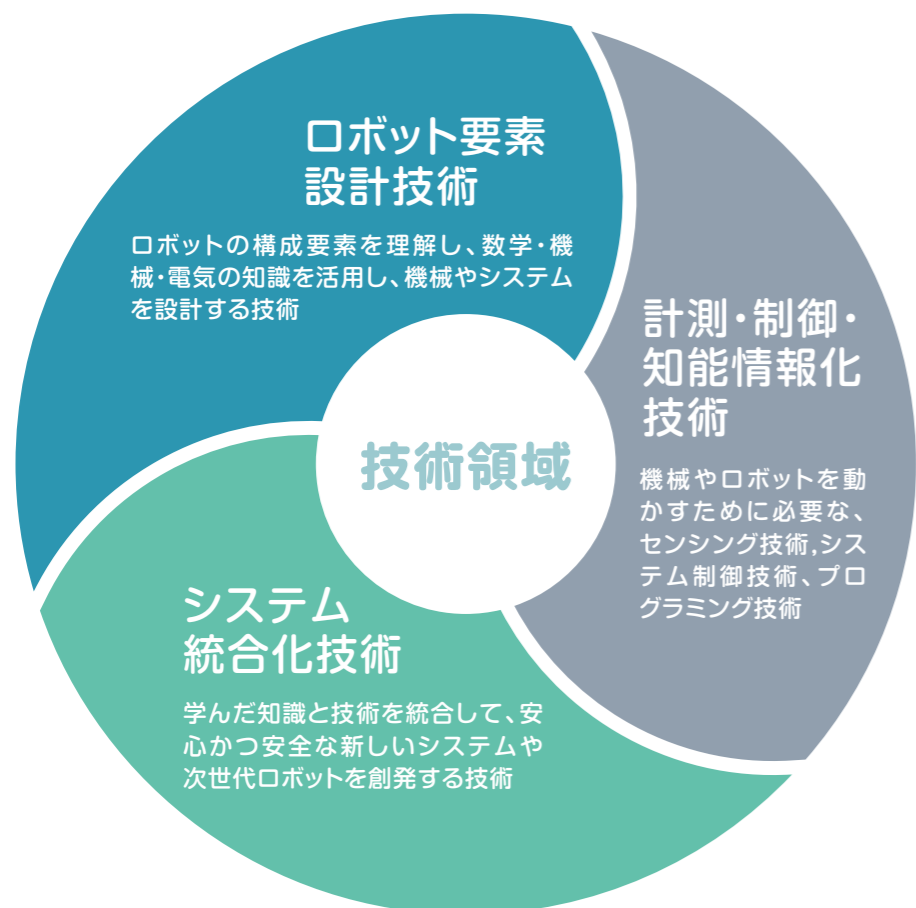
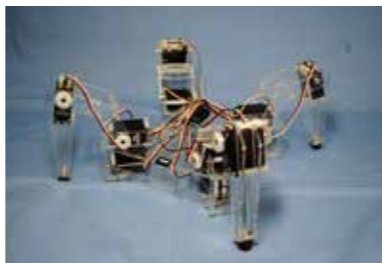


【発行日：2021年7月】

ロボティクス学科の学ぶ領域

ロボット技術に関わる分野において
真に活躍できる技術者を育てます

これからの技術者には、種々の要素技術を統合して新しいロボットや機器を創出する統合化技術が求められます。座学形式の講義に加えて、ロボット製作やプログラミングなどの実践演習を通して、社会で活躍できる必要な知識や技能を身につけます。



ロボットを主題に、
モノづくりに必要な技術を学ぶ

キーワード

- ✓ 産業応用ロボット
- ✓ 生活支援機器システム
- ✓ 医療福祉支援ロボット
- ✓ 防災/災害援助ロボット
- ✓ 環境/フィールド応用ロボット
- ✓ インテリジェントセンサシステム

ロボティクス学科で修得する知識・能力

自ら学び自ら考える能力

機械系・ロボティクス技術者として活躍するために、自らの進むべき方向性を見出すことができる。また、産業界の動向、求められる技術者像を把握し、技術者として将来の方向を明確にできる。

機械工学の基礎知識 および専門知識の修得と応用能力

機械力学、材料力学、熱・流体力学の基礎知識をロボットの機構設計や運動解析に応用できる。

電気・電子工学、計測・制御工学の 基礎知識および専門知識の 修得と応用能力

ロボットを制御するための基本的な駆動回路やフィルタおよび制御系の基礎的な設計ができる。

プログラミング技術および 知能情報化技術の修得と応用能力

アルゴリズムとデータ構造を理解し、動くものを制御するためのプログラムを作成できる。

設計製作に必要な 知識と技術の修得と実践能力

CAD汎用技術や設計技術を活用し、機械やロボット製作に応用できる。さらに、実際の機械や機構に触れ、実践を通してロボットの機械的設計および加工ができる。

システム統合化能力と プロジェクト遂行能力

社会ニーズから問題を発見し、その問題の本質を理解したうえで、身につけた知識と技術を統合して問題を解決できる。また、実験を通して現象を解明し、与えられた制約のもとで、個々が身につけた知識や技術、コミュニケーション能力を生かし、計画的に仕事を遂行できる。

ロボティクス学科に関連する課外活動

夢考房プロジェクト

- ロボット
- フォーミュラカー
- メカニカルサポート
- 組込みソフトウェア
- ロボカップ
- 人力飛行機
- 義手研究開発
- RoboCup@Home
- 人工衛星開発
- 自律走行車 など

学科・課程・研究室に関するプログラム

- 数理考房・理工学基礎プロジェクト
- 機械系研究室体験プログラム
- グローバルな技術者をめざす「FE (Fundamentals of Engineering) challenge」プログラム
- こどもの成長を見守る「おもちゃ」開発プロジェクト など

